

第1号議案

令和元年度事業報告及び決算について

令和元年度事業報告

1 団体の管理・運営

(1) 会員数（令和2年3月末現在）

- ・正会員：40団体
- ・賛助会員（団体）：118団体（99団体、19市町）
- ・賛助会員（個人）：127名

(2) 会議の開催

① 総会

- ・第53回 令和元年6月4日 役員を選任
（書面）
- ・第54回 令和元年6月28日 30年度事業報告・収支決算、役員を選任

② 理事会

- ・第66回 令和元年5月30日 総会の招集（役員を選任）
（書面）
- ・第67回 令和元年6月7日 30年度事業報告・収支決算、
総会の招集（役員を選任）
- ・第68回 令和元年6月28日 役員を選定、会長の選定
（書面）
- ・第69回 令和2年3月27日 令和元年度収支予算の補正、令和2年度事業計
画・収支予算・資金調達及び設備投資の見込み

2 環境情報の提供

(1) インターネットホームページ（URL: www.eco-partner.net）による情報提供

- ・県民会議の活動、県内外の環境情報などを発信した。

*ホームページ閲覧実績

年間 20,627回（56回/日）

（前年度：16,411回（44回/日））

- ・環境情報メールマガジン(県民エコステーション NEWS)の発行 (月 2 回程度)
 ＊配信先数：484 団体・個人 (令和 2 年 3 月末現在)
 (前年度：524 団体・個人)

(2) 機関報 E-GAIA (イーガイア) の発行

- ・発行部数：1,800 部 (年 2 回 各 900 部)
 (前年度：1,800 部 (年 2 回 各 900 部))
- ・配布先：会員、市町 (配布用) 等

(3) 会員情報誌「エコナビ」の発行

- ・発行部数：1,000 部 (年 1 回)
 (前年度：1,000 部 (年 1 回))
- ・配布先：会員、教育機関、公的機関等

(4) 「県民エコステーション」における情報提供 (活動・イベント案内、会員情報等)

(5) 環境ライブラリーとして、図書、パネル等の整備・貸出

- ・図書等整備状況 (令和 2 年 3 月末現在)
 図書 1,314 冊、パネル 17 枚
- ・貸出状況 図書 63 冊、パネル 20 枚
 (前年度：図書等整備状況 図書 1,306 冊、パネル 17 枚
 貸出状況 図書 127 冊、パネル 4 枚)

3 地球温暖化防止対策の推進

(1) いしかわ環境フェア 2019 の開催

- ・開催日：令和元年 8 月 24 日 (土)・25 日 (日)
- ・開催場所：石川県産業展示館 4 号館
- ・いしかわ近未来の環境技術展
 いしかわの里山里海展 を同時開催
- ・参加者数：27,500 人 (1 日目 13,000 人 2 日目 14,500 人)
- ・出展団体：174 団体 (企業、行政、学校、民間環境団体等)
 (前年度：参加者数 27,000 人 (1 日目 14,000 人 2 日目 13,000 人)、出展団体 174 団体)

・内 容

○テーマ

次世代のためにクールチョイス ～今わたしたちにできること～

○企業・団体出展コーナー

リサイクル、CO2削減等の環境活動の取り組みや、関連企画の展示・紹介など

○環境科学実験・体験・工作コーナー

自然素材を活かした小物づくり、省エネ実験など

○ステージ

エコデザイン賞公開プレゼンテーション、ココリコ遠藤章造氏講演など

○その他

フェア30周年記念パネル展示

環境月間・愛鳥週間ポスターの展示・表彰

エシカルラボ in 石川

(消費者庁のエシカル消費(倫理的な消費)の普及啓発シンポジウム)

○いしかわ近未来の環境技術展

過去・現在・未来の自動車の環境技術展示、企業協力による省エネ商品・省エネプロジェクトの紹介

○いしかわの里山里海展

里山の恵みを活用した各種体験・工作、里山里海の生き物たちとのふれ合い、ジビエの紹介など

(2) 省エネ・節電アクションプランの推進

従来の環境ISOの取組項目に加えて、省エネ・節電効果の高い取組項目を追加選択のうえ、アクションプランとしてステップアップした「いしかわ版環境ISO」の取組み数の拡大を図った。

・学校・事業所等への周知

・相談窓口の設置(専任相談員による相談:週1回)

(3) エコギフトによる温暖化防止活動への支援

・内容:いしかわ学校版・地域版環境ISOで認定された学校や公民館等を対象に、取組の評価を行い、優秀な取組に対しエコギフト(エコ賞品)を贈呈した。

・贈呈:学校10校、地域(公民館)1地域、保育園等17園

(前年度:学校10校、地域(公民館)1地域)

(4) いしかわエコチケットによる温暖化防止活動への支援

- ・内容：いしかわ家庭版環境 ISO 登録者を対象に、省エネなどエコ活動等に応じてエコチケットを交付し、家庭におけるエコ活動等の普及拡大を図った。
- ・交付実績：572,300ポイント
(前年度：672,900ポイント)

(5) エコファミリー倍増プロジェクト推進事業

- ・内容：令和7年度までにエコファミリーを120,000世帯とする目標に向け、いしかわエコライフ応援サイトを運営するとともに、子育て世帯の取組をさらに後押しするために親子向けにイベントを実施し、取組の裾野の拡大を図った。

(6) **新** エコファミリー倍増推進事業（スマートフォン向けアプリの開発）

エコファミリー倍増に向けた取り組みを加速するため、省エネ活動の成果の見える化や参加意欲を誘発するアプリケーションソフトを開発した。

(7) いしかわクールシェア・ウォームシェアの推進

夏季期間中、家庭のエアコンを消して、公共施設や商業施設などの冷房空調を共有することにより、家庭における消費電力を削減する「クールシェア」の取り組みを推進した。

冬期期間中、家族が1つの部屋に集まって鍋を囲んだり、暖房を消して外に出かけることで、家庭における消費電力を削減する「ウォームシェア」の取り組みを推進した。

- ・クールシェア・ウォームシェアスポットの募集・登録
- ・広報チラシ等印刷物の作成配布

(8) 企業エコ化促進事業

- ・内容：県内中小企業等を対象に、地球温暖化対策や生物多様性の保全など環境対策を、制約でなくビジネスチャンスと捉える企業マインドの醸成を図った。
- ・いしかわエコデザイン賞のブランド化業務
公開プレゼンテーション等、賞の企画運営・実施、広報

(9) CO2削減活動支援事業

- ・内容：二酸化炭素の吸収源となる森林を整備する活動を行う団体を社会全体で支える制度を創設し、森林整備活動の拡大を図るため、整備活動団体に対する助成金の交付を行った。

助成金交付：10団体 26.5万円

(前年度：助成金：14団体 35.5万円)

(10) いしかわ事業者版環境ISOの運営

- ・内容 石川県独自の簡易な環境マネジメントシステムであるいしかわ事業者版環境ISOに係る審査・指導
- ・申請件数（更新含む）：183件（累計申請件数：2,962件）
(前年度：244件)

(11) エコクッキングの実践活動

- ・内容：地元の食材を使用し、調理器具や調理方法など環境への負担を少なくすることを実践しながら学んだ。
- ・回数：2回（七尾市、野々市市）、参加者延べ49人
(前年度：2回（能美市、能登町）、参加者延べ43人)

(12) 地域での地球温暖化防止活動促進事業

- ・内容：広く県民に対し、地球温暖化対策の情報提供を行うとともに、県から委嘱された地球温暖化防止活動推進員のさらなる資質向上を目的に研修を開催した。

- ・地域における地球温暖化の現状及び対策の推進状況等の啓発普及
いしかわ環境フェア2019ブース出展等
開催回数 2日、参加人数 延べ2,085人
- ・地球温暖化防止活動推進員研修
開催回数 3回、参加人数 延べ65人

4 普及啓発活動の実施

(1) いしかわエコハウスの見学者への案内・普及

- ・いしかわエコハウスでの快適環境の体験
- ・最新機器の展示や展示物を活用した研修会等を開催
- ・「エコ設計」「エコ改修」「エコリビング」の普及啓発
- ・いしかわ流エコリビング普及啓発冊子の製作

(2) 電気自動車の展示

- ・内容：電気自動車を配備・展示し、来館者にご覧いただいたり、環境イベントや環境保全活動において使用することにより、電気自動車の普及啓発を図った。

(3) 県民エコステーションでの常設展示

- ・エコキッチン
- ・石川県リサイクル認定製品の展示
- ・ドイツ交流コーナー（ドイツ・フライブルク市との交流コーナー）
フライブルク市エコステーションの事例パネル、グッズ等紹介
- ・会員活動情報、イベント情報、温暖化防止啓発等のチラシ、パンフレットの掲示

*令和元年度 県民エコステーション来所者数

5,001人（月平均：416人）

（内 訳）①来館者数 4,213人（月平均351人）

②会議室利用者数

団体数： 80団体（月平均 6団体）

人 数： 788人（月平均65人）

（前年度：来所者数4,375人（月平均：364人）

① 来館者数 3,739人（月平均311人）

② 会議室利用者数 団体数：57団体（月平均5団体）

人 数：636人（月平均53人）

5 環境学習講座の開催

(1) ドイツでの環境学習講座の開催

- ・開催数：0回、参加者：0名 ※新型コロナウイルスの影響により派遣を中止
- ・内 容：ドイツ・フライブルク市エコステーションとタイアップした現地講座開催によるリーダー育成

（前年度：開催1回、参加者1名）

(2) 土曜環境サロン

環境保全を考える県民の情報交換の場づくり

- ・開催数：4回
- ・参加者：延べ114人（子ども17人、大人97人）

（前年度：開催4回、参加者延べ92人（子ども11人、大人81人））

6 環境活動の支援

(1) 環境保全活動の支援助成

営利を目的としない民間団体の温暖化防止、ごみ減量化、自然環境の保全等に係る活動に対して助成した。

助成団体数：6団体 助成額：400,000円

(スタートアップ助成：3団体 助成額210,000円)

ステップアップ助成：3団体 助成額190,000円)

(前年度：助成団体数4団体、助成額400,000円)

(内訳) スタートアップ助成：1団体 助成額 75,000円)

ステップアップ助成：3団体 助成額325,000円)

(2) 講師等派遣

県内の事業所、学校、各種団体等が行う環境保全の講演会、エコドライブ教室、エコクッキング研修会等へ講師を派遣した。

派遣回数：41回

(内訳) 学校・保育所等25回、民間団体13回、事業所3回

(前年度：派遣回数41回、

(内訳) 学校・保育所等25回、民間団体14回、事業所2回)

7 いしかわeco基金事業

いしかわ家庭版環境ISO登録者を対象に、省エネ活動等に応じてエコチケットを交付し、エコ活動等の拡大や登録の普及拡大を図るエコチケット事業の原資となるいしかわeco基金の管理運営を行った。

エコチケットは、事業協力店舗での買い物や森林整備活動資金への寄付を行うことができるもので、金融機関等の協力を得て「いしかわeco基金」を造成し、事業協力店舗に対するエコチケットの換金支払等を実施した。

eco基金残高の推移 (エコチケット引当資産を含む)

前期末残高	3,079,810円
(うち引当資産	671,400円)
当期受入額 (寄付金等)	600,028円
当期払出額 (換金支払等)	567,200円
当期末残高	3,112,638円
(うち引当資産	572,300円)

8 里山ポイント事業

県や市町、里山づくり ISO 認証団体が主催する里山活動への参加者に対し、里山ポイントを付与し、そのポイントに応じた里山チケットを交付することにより、より多くの人々が里山保全活動へ参画することを促進した。

9 いしかわ自然学校事業

(1) 事務局の設置、運営

①運営協議会の開催

- ・いしかわ自然学校の推進方策の検討及びプログラム実施等の調整

開催予定日 令和2年2月22日（新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため中止）

対 象 実施団体及びいしかわ自然学校インストラクター等

出席予定者 18名（中止の理由を付して当日の会議資料を郵送）

②総合的な広報・PR等

- ・総合パンフレットの作成及び配布

作成部数 12,000部

配布先 市町、小中学校、公共図書館・児童館、生涯学習施設
スポーツ用品量販店、自然体験プログラム実施団体ほか

- ・大人の自然学校パンフレットの作成及び配布

作成部数 1,500部

公共図書館、自然体験プログラム実施団体ほか

③活動用品の貸出

自然体験プログラムを実施するため必要となる物品の貸出

(2) 実施団体及び指導者の養成

①インタープリターセミナーの開催

- ・自然体験活動指導者相当の資格が付与できる指導者養成講座

開催日 令和元年5月25日～26日

参加者 延べ42人

内 容 習得した知識や技術を活かし、自然体験プログラムの企画、
広報、実施、評価について、実践をとおして学習

②専任職員の配置

- ・インストラクター等の派遣に関する業務を中心に事業全般の企画・調整等

(3) インストラクタースクールの開催

- ・必修講座（企画セミナー、安全管理セミナーなど）、実践講座の開催

- ・講座修了者を「いしかわ自然学校インストラクター」に登録

受講・登録者 20人

10 夕日寺健民自然園管理運営事業

(1) 自然園の管理運営（職員2名体制）

(2) 来園者増のための取組

- ・自然体験プログラムの実施（開催28回、参加者延べ377人）

（前年度：開催28回、参加者延べ346人）

- ・夕日寺の森フェスタの開催（令和元年10月22日、参加者600人）

（前年度：10月7日 台風の影響により中止（前々年度：10月8日 参加者480人））

- ・広報（ホームページ、パンフレット作成）

*年間来園者数49,353人

（前年度：49,827人）